

明治安田生命 「家計」に関するアンケート調査を実施！
今年のGW平均予算は「47,249円」
GWが10連休と大型化したことによる消費動向は二極化の傾向が！
10月に予定される消費増税は「家計」に大きな影響！
世のお父さんのおこづかいが大ピンチ！？

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、「家計」に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

1. 今年のGW（10連休）の消費について（詳細は5～7ページ参照）

■ 10連休の消費動向は二極化の傾向が！

- ・ GWに使う平均予算は「47,249円」。今年のGWは、新天皇のご即位に伴う大型連休化を受けて、消費の押し上げ効果が期待されており、約3割の人は、GWの予算を昨年から増やすと回答。予算を「増やす」と回答した人の平均予算は「70,222円」と、全体平均額よりも「22,973円」多い結果に！
- ・ 一方、GWの予算は約3割の人が「0円」と回答。また、約7割の人が予算を「変えない」「減らす」と回答しており、節約志向の人も多い結果に！
- ・ GWの過ごし方は1位が「自宅でゆっくり」（74.7%）と圧倒的に多く、2位「国内旅行」（15.4%）、3位「帰省」（14.9%）
- ・ また、平成最後の日の過ごし方でも1位は「自宅でゆっくり」（76.1%）と圧倒的に多く、2位「帰省」（15.5%）、3位「国内旅行」（14.9%）
- ・ GWが10連休と大型化したことによる一定の経済効果がみられるも、今年は5月1日に新天皇のご即位・元号改正を控え、「平成最後の日」、「令和最初の日」を家族等と「自宅でゆっくり」過ごしたいと考える人が多く、GW中の消費動向は二極化の傾向が！

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が今年のGWの消費動向について分析！（7ページ）

2. 消費増税が家計に与える影響（詳細は8～9ページ参照）

■ 10月に予定される消費増税は家計に大きな影響！！約6割の妻が増税後、おこづかいを「減らす」と回答！

- ・ 消費増税が家計に与える影響では、実に7割弱の人が「影響が大きい」と回答！
- ・ 消費増税後、妻の約6割がおこづかいを「減らす」と回答。世のお父さん達の財布事情に大きな影響が！？

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が消費増税が家計に与える影響について分析！（9ページ）

3. 家計の状況について（詳細は10～16ページ参照）

■おこづかい額・ランチ代

- ・おこづかい額は「28,080円」と2年連続の増加！一方で、約9割の方は現在のおこづかいが不足と回答！希望額とは実に1万円以上の差が！
- ・ランチ代は調査開始以来最高額を更新！妻のランチ代は4年連続の増加、夫は減少！夫婦間の格差は更に拡大！

■キャッシュレス化の浸透

- ・決済手段は「現金派」と「キャッシュレス派(クレジットカード・電子マネー等)」がほぼ半々！
- ・決済手段が「現金」と答えた人は、「浪費を防げるため」「不正利用の恐れがあるため」の回答が多く「現金以外」と答えた人は「利便性が高い」「経済的メリットが大きい」の回答が多い結果に！
- ・さらなるキャッシュレス化の浸透にむけては、新たなキャッシュレス手段の普及やポイント還元施策などが必要？

■家計における景気回復の実感はまだまだ遠い！？家計に余裕ができたと答えた人はわずか7.9%！

- ・現在の給与に満足している人はわずか16.6%！給与に満足していない理由は、「貯蓄をするお金がないから」がトップ！

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が家計の状況について分析！（18ページ）

4. 貯蓄について（詳細は19～20ページ参照）

■約2割が貯蓄額「0円」と回答！平均貯蓄額は「1,293万円」！

- ・過去3年間の平均貯蓄額の推移をみると、全体の平均貯蓄額は3年前から19万円、昨年から90万円増加。男性は昨年から204万円増加しており、60代、70代は2,000万円を超える！
- ・「将来のため」「いざというとき」「子どもの教育資金」などの貯蓄目的は女性の割合が高く、「家族旅行」「趣味」「マイホーム購入」「マイカー購入」は男性の割合が高い傾向に！

対象者の属性

1. 調査対象

20～79歳の既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2019年4月1日(月)～4月8日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,620人

6. 回答者の内訳

(単位：人)

| | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 計 |
|----|------|------|------|------|------|------|-------|
| 男性 | 135 | 135 | 135 | 135 | 135 | 135 | 810 |
| 女性 | 135 | 135 | 135 | 135 | 135 | 135 | 810 |
| 計 | 270 | 270 | 270 | 270 | 270 | 270 | 1,620 |

【 目 次 】

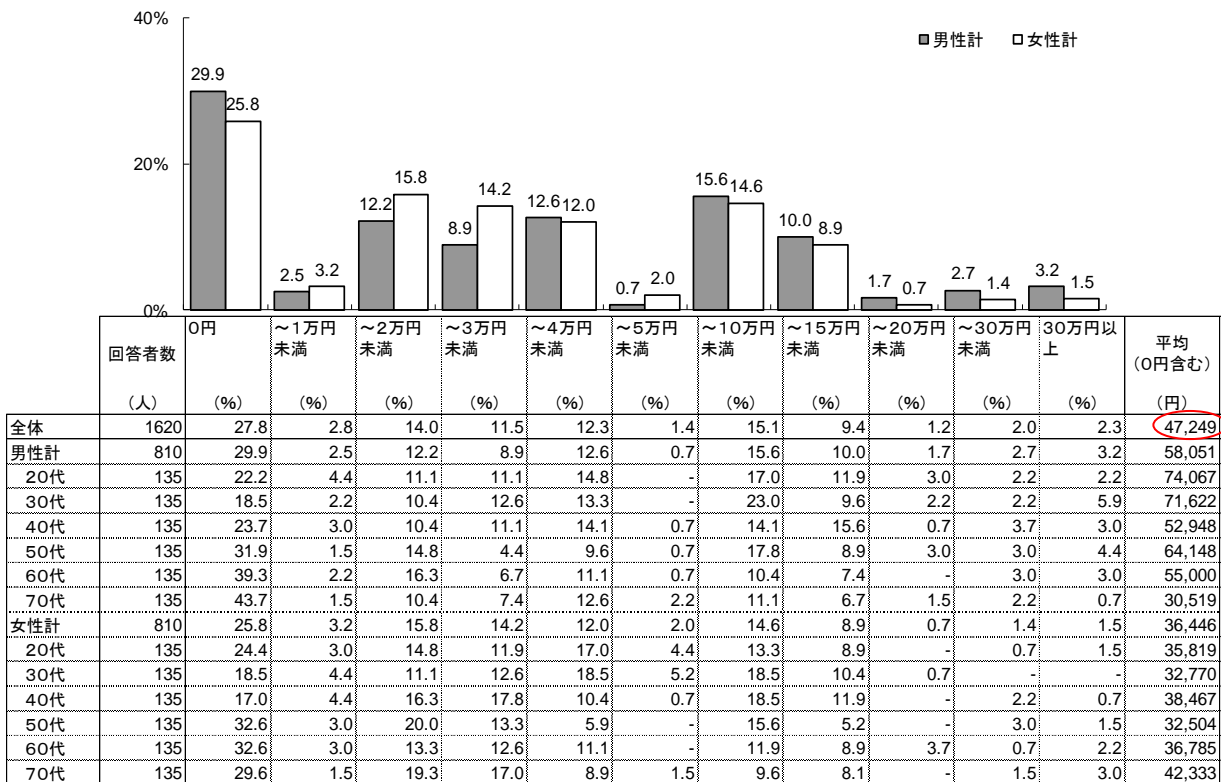
| | |
|--|------------|
| <u>1. 今年のGW（10連休）の消費について</u> | ．．．． 5ページ |
| 当社チーフエコノミスト小玉 祐一が今年のGWの消費動向について分析！ | ．．．． 7ページ |
| <u>2. 消費増税が家計に与える影響</u> | ．．．． 8ページ |
| 当社チーフエコノミスト小玉 祐一が消費増税が家計に与える影響について分析！ | ．．．． 9ページ |
| <u>3. 家計の状況について</u> | |
| (1) 夫婦のおこづかい | ．．．． 10ページ |
| (2) 夫婦のランチ代 | ．．．． 12ページ |
| (3) キャッシュレスの浸透について | ．．．． 13ページ |
| (4) 家計の状況と理由 | ．．．． 15ページ |
| (5) 給与の満足度と理由 | ．．．． 17ページ |
| 当社チーフエコノミスト小玉 祐一が家計の状況について分析！ | ．．．． 18ページ |
| <u>4. 貯蓄について</u> | ．．．． 19ページ |

1. 今年のGW（10連休）の消費について

平成最後、令和最初の10連休の消費動向は二極化の傾向が！

- 今年のGWの消費や過ごし方について聞いてみました。
- GWに使う平均予算は「47,249円」となりました。今年のGWは、新天皇のご即位に伴う大型連休化を受けて、消費の押上げ効果が期待されるなか、約3割の人が、GWの予算を昨年から増やすと回答しています。予算を「増やす」と回答した人の平均予算は「70,222円」と、全体平均額よりも「22,973円」多い結果となっています。
- 一方、GWの予算は「0円」と回答した人が約3割を占める結果になっており、また、約7割の人が予算を「変えない」「減らす」と回答していることから、節約志向の人も多いようです。
- GWの過ごし方は1位が「自宅でゆっくり」（74.7%）、2位が「国内旅行」（15.4%）、3位「帰省」（14.9%）の結果となりました。
- また、平成最後の日の過ごし方について聞いてみたところ、1位が「自宅でゆっくり」（76.1%）と圧倒的に多く、2位が帰省（15.5%）、3位が「国内旅行」（14.9%）という結果でした。
- 今年は5月1日に元号改正を控え、「平成最後の日」、「令和最初の日」を家族と「自宅でゆっくり」過ごしたいと考える人も多いようです。GWが10連休と大型化したことによる一定の経済効果がみられるも、GW中の消費動向は二極化の傾向があるようです。

Q今年のGWにいくらくらいお金を使う予定ですか。



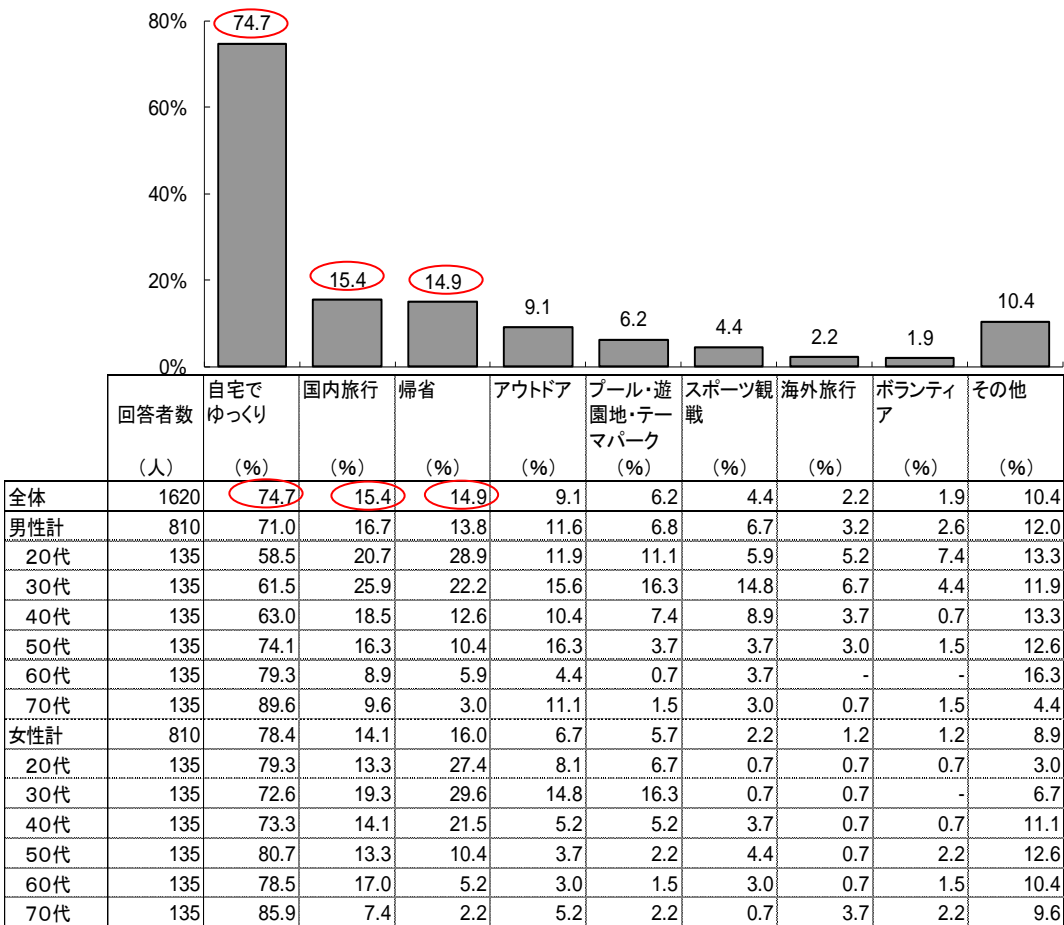
Q今年のGWに使うお金は、昨年と比べ増やす予定ですか。

【「増やす」と回答した人の平均予算】

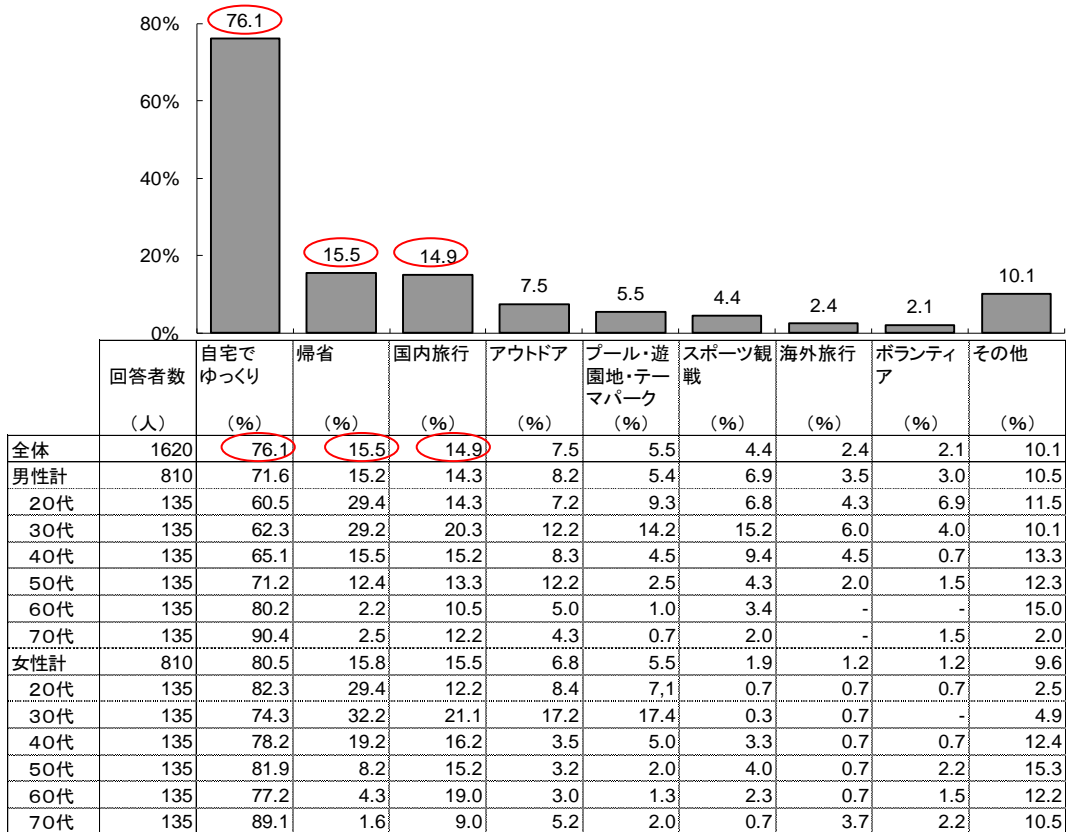
| | 回答者数 (人) | 増やす (%) | 減らす (%) | 変わらない (%) |
|-----|-------------|------------|------------|--------------|
| 全体 | 1620 | 30.8 | 18.3 | 51.0 |
| 男性計 | 810 | 31.2 | 20.4 | 48.4 |
| 女性計 | 810 | 30.3 | 16.2 | 53.5 |

| | 平均額 |
|-----|---------|
| 全体 | 70,222円 |
| 男性計 | 78,224円 |
| 女性計 | 62,219円 |

Q今年のGWはどのように過ごしますか



Q平成最後の日はどのように過ごしますか



～チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト 小玉 祐一



●GW中に使うお金を増やすとした家庭が30.8%と、減らすとした18.3%を2桁以上上回ったのは好材料です。個人消費が昨年よりも大きく伸びることが期待できます。実際、「せつかくの10連休を自宅で過ごすには長すぎる」と感じている人は少なくないと思われます。特に、旅行業界では期待するムードが高まっているようです。

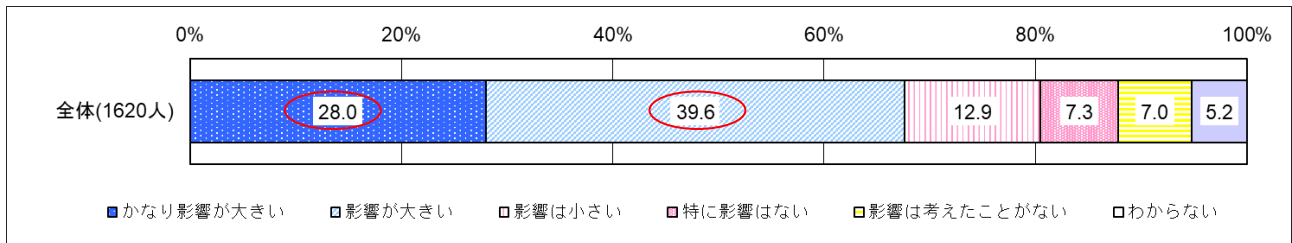
本調査結果では、国内旅行が15.4%、帰省が14.9%と、約3割が国内での移動を予定しています。海外旅行は国内の景気刺激には貢献しませんが、割合は2.2%とさほど大きくありません。家族で外出に出る機会も増えるとみられるほか、改元に絡んだイベントを仕掛ける商業施設も多く、各地の観光施設やショッピングモール、テーマパークは例年にない盛り上がりを見せることになりそうです。一方で、各業界からは連休中の人手不足や、GW前後の節約ムードを警戒する声が挙がっています。観光立地ではない施設は客足の減少が予想されるなど、すべてが恩恵を被るわけではありません。しかし、全体としては景気にプラスとなる可能性が高いと言えます。

2. 消費増税が家計に与える影響

消費増税は家計に大きな影響！！約6割の妻が増税後、おこづかいを「減らす」と回答！

- 10月に予定されている消費増税が家計に与える影響について、聞いてみました。
- 全体では、「かなり影響が大きい」(28.0%)と「影響が大きい」(39.6%)を足した、影響が大きい合計は67.6%と7割近くを占める結果となりました。
- さらに、消費増税後の節約について聞いてみたところ、「外食を控える」(54.0%)、次いで「食費を減らす」(41.9%)、「光熱費を減らす」(41.0%)という結果になりました。
- 消費増税後、おこづかいの金額についてどうするか聞いたところ、約6割の妻が「減らす」(58.3%)と回答しました。消費増税は、日常生活に直結する“減らしやすい”所から減らす傾向があるようです。世のお父さん達の財布事情に大きな影響を与えそうです。

Q10月に予定されている消費増税は、あなたの家計に影響を与えますか

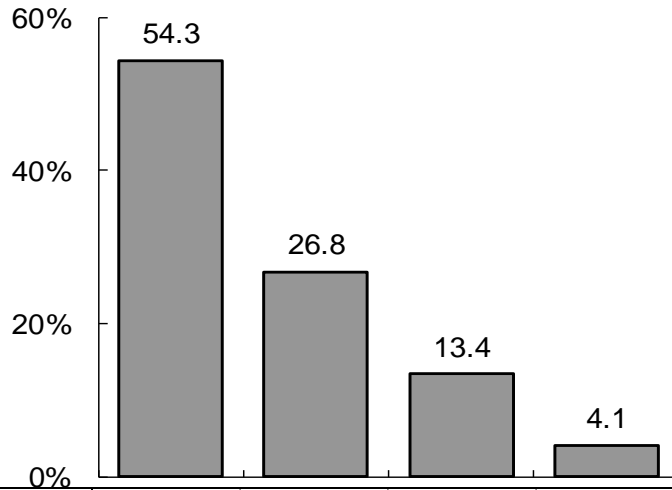


| | 回答者数 (人) | かなり影響が大 きい (%) | 影響が大 きい (%) | 影響は小 さい (%) | 特に影響はな い (%) | 影響は考 えたこ とがない (%) | わから ない (%) |
|-----|-------------|----------------------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------------------|------------------|
| 全体 | 1620 | 28.0 | 39.6 | 12.9 | 7.3 | 7.0 | 5.2 |
| 夫計 | 810 | 25.7 | 38.4 | 14.6 | 8.5 | 7.9 | 4.9 |
| 20代 | 135 | 28.9 | 45.2 | 9.6 | 5.2 | 6.7 | 4.4 |
| 30代 | 135 | 27.4 | 43.0 | 9.6 | 7.4 | 11.1 | 1.5 |
| 40代 | 135 | 26.7 | 38.5 | 14.1 | 6.7 | 5.9 | 8.1 |
| 50代 | 135 | 28.1 | 33.3 | 14.1 | 10.4 | 8.1 | 5.9 |
| 60代 | 135 | 21.5 | 34.1 | 20.7 | 11.1 | 6.7 | 5.9 |
| 70代 | 135 | 21.5 | 36.3 | 19.3 | 10.4 | 8.9 | 3.7 |
| 妻計 | 810 | 30.4 | 40.7 | 11.2 | 6.0 | 6.0 | 5.6 |
| 20代 | 135 | 31.1 | 43.0 | 7.4 | 5.9 | 5.2 | 7.4 |
| 30代 | 135 | 40.0 | 34.1 | 7.4 | 5.9 | 6.7 | 5.9 |
| 40代 | 135 | 39.3 | 40.7 | 8.9 | 4.4 | 3.7 | 3.0 |
| 50代 | 135 | 23.7 | 49.6 | 8.9 | 5.2 | 6.7 | 5.9 |
| 60代 | 135 | 25.9 | 34.8 | 17.8 | 6.7 | 8.1 | 6.7 |
| 70代 | 135 | 22.2 | 42.2 | 17.0 | 8.1 | 5.9 | 4.4 |

Q増税後、どのような節約を実施しますか（上位3位）

| | 回答者数 (人) | 外食を控える (%) | 食費を減らす (%) | 光熱費をおさえる (%) |
|----|-------------|---------------|---------------|-----------------|
| 全体 | 1620 | 54.0 | 41.9 | 41.0 |
| 夫計 | 810 | 53.7 | 37.9 | 41.4 |
| 妻計 | 810 | 54.2 | 45.8 | 40.6 |

Q増税後、おこづかいの金額はどのようにしますか



| | 回答者数 (人) | 減らす (%) | 変わらない (%) | わからない (%) | 増やす (%) |
|----|-------------|------------|--------------|--------------|------------|
| 全体 | 1620 | 54.3 | 26.8 | 13.4 | 4.1 |
| 夫計 | 810 | 50.3 | 31.1 | 13.2 | 5.4 |
| 妻計 | 810 | 58.3 | 22.4 | 13.6 | 2.7 |

～チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト 小玉 祐一



●増税を喜ぶ人はいません。なかでも日本人の「消費税アレルギー」は諸外国を上回ると言われており、時の政権が倒れる要因にもなってきました。本調査結果では、そうした日本人の気質を顕著に示していると言えます。とりわけ、妻の6割がおこづかいを減らすとの回答は、世の男性にとってはショッキングかもしれません。ただ、どれだけの家庭が実際に行動に移すかはわかりません。「消費税反対」の意思表示という意味合いで回答した人もいるでしょう。

今回の消費税に関しては、手厚い消費税対策も用意されており、前回の増税時よりも家計への悪影響は小さくなるとみています。政府としては、今後、社会保障改革をしっかりと進めることで、国民の不満に添えていく必要があります。個人消費が伸び悩む背景には、社会保障制度の持続性への漠然とした不安があると言われていたためです。北欧の消費税率は日本よりはるかに高いですが、日本のような拒否反応は見られません。負担と給付の結びつきがきちんと見えるようになれば、国民の「消費税アレルギー」もずいぶん和らぐのではないのでしょうか。

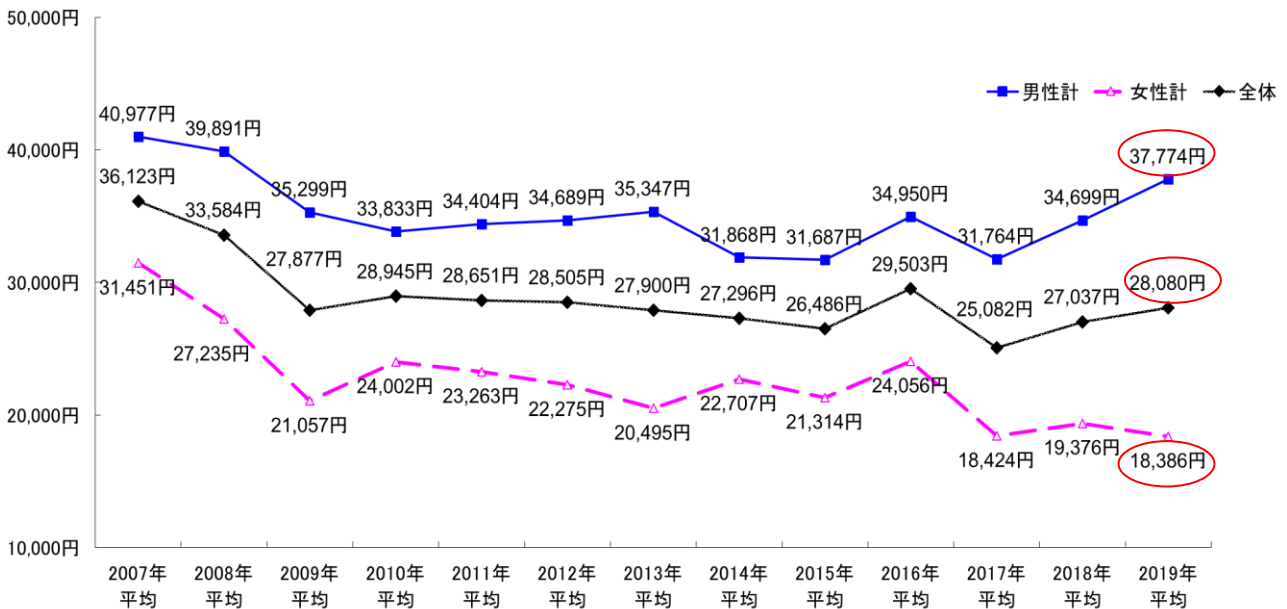
3. 家計の状況について
 (1) 夫婦のおこづかい

**おこづかい額は「28,080円」と2年連続の増加！
 約9割が現在のおこづかいは不足と回答！希望額とは実に1万円以上の差が！**

- 夫婦のおこづかい（月に自由に使えるお金）の金額について聞いてみました。
- 全体の月平均額は、昨年から1,043円増加し「28,080円」となりました。夫婦別では、夫は昨年から3,075円増加し「37,774円」となり、調査開始以降2番目の増加額となりました。一方、妻は990円減少し「18,386円」と、調査開始以来最低額を記録しました。
- また、夫婦それぞれのおこづかいの充足感について聞きました。
- 「十分足りている」と答えたのは全体では9.6%と、現在のおこづかいの金額に満足しているのは全体の約1割しかなく、「少し足りていない」「全然足りていない」と、現在のおこづかいの金額に満足していないと回答したのは約9割を占めました。
- 希望するおこづかい金額を聞いてみたところ、全体では「38,894円」と実際の金額と約1万円以上の差がありました。男女別では、夫は「51,700円」と実際の金額と約1万4千円の開きが、妻も「26,087円」と約8千円の開きがありました。

Q. 月に自由に使えるお金はいくらですか（金額回答）※20代～50代調べ

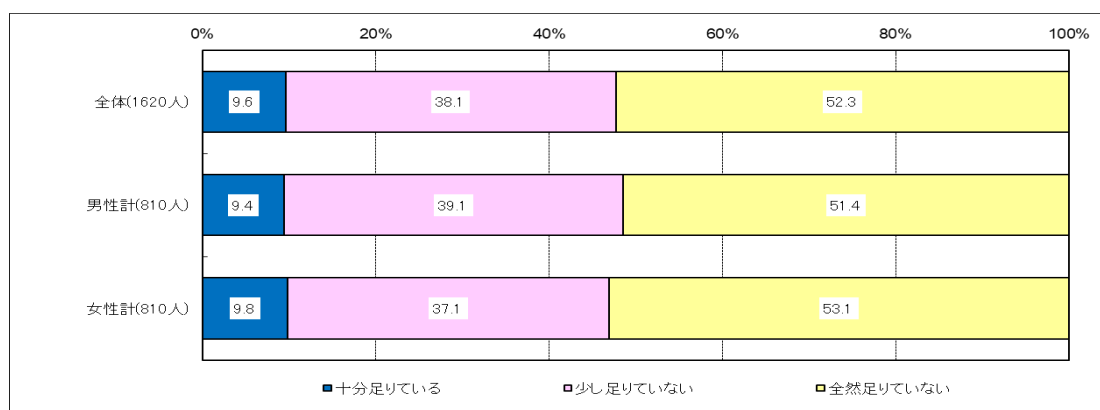
【おこづかい金額の推移】



【おこづかい金額の詳細】

| | 回答者数 (人) | 0円 (%) | ～5千円 (%) | ～1万円 (%) | ～2万円 (%) | ～3万円 (%) | ～5万円 (%) | ～10万円 (%) | 10万円超 (%) | 平均 (円) |
|-----|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-----------|
| 全体 | 1080 | 13.2 | 7.5 | 17.6 | 19.0 | 18.8 | 14.2 | 7.8 | 1.9 | 28,080 |
| 夫計 | 540 | 9.3 | 3.3 | 9.8 | 18.7 | 24.6 | 19.3 | 11.9 | 3.1 | 37,774 |
| 20代 | 135 | 11.9 | 4.4 | 14.8 | 15.6 | 25.2 | 14.8 | 11.1 | 2.2 | 30,474 |
| 30代 | 135 | 8.1 | 2.2 | 12.6 | 23.7 | 22.2 | 18.5 | 9.6 | 3.0 | 38,519 |
| 40代 | 135 | 5.2 | 2.2 | 7.4 | 23.7 | 26.7 | 21.5 | 11.1 | 2.2 | 39,007 |
| 50代 | 135 | 11.9 | 4.4 | 4.4 | 11.9 | 24.4 | 22.2 | 15.6 | 5.2 | 43,096 |
| 妻計 | 540 | 17.2 | 11.7 | 25.4 | 19.3 | 13.0 | 9.1 | 3.7 | 0.7 | 18,386 |
| 20代 | 135 | 18.5 | 9.6 | 25.9 | 20.0 | 9.6 | 10.4 | 5.2 | 0.7 | 19,678 |
| 30代 | 135 | 17.8 | 11.1 | 23.7 | 20.0 | 15.6 | 7.4 | 3.7 | 0.7 | 18,341 |
| 40代 | 135 | 16.3 | 14.1 | 24.4 | 19.3 | 15.6 | 7.4 | 1.5 | 1.5 | 17,141 |
| 50代 | 135 | 16.3 | 11.9 | 27.4 | 17.8 | 11.1 | 11.1 | 4.4 | - | 18,385 |

Q. 現在のおこづかいについて、どう思っていますか



| | 回答者数 (人) | 十分足りて いる (%) | 少し足りてい ない (%) | 全然足りて いない (%) |
|-----|-------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 全体 | 1620 | 9.6 | 38.1 | 52.3 |
| 男性計 | 810 | 9.4 | 39.1 | 51.4 |
| 女性計 | 810 | 9.8 | 37.1 | 53.1 |

Q. 1カ月に希望するおこづかい金額はいくらですか（金額回答）※20代～50代調べ

| | 回答者数 (人) | 0円 (%) | ～5千円 (%) | ～1万円 (%) | ～2万円 (%) | ～3万円 (%) | ～5万円 (%) | ～10万円 (%) | 10万円超 (%) | 平均 (円) |
|-----|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-----------|
| 全体 | 1080 | 7.8 | 3.8 | 13.9 | 15.1 | 20.8 | 22.9 | 12.9 | 2.9 | 38,894 |
| 夫計 | 540 | 5.9 | 1.3 | 5.0 | 10.9 | 21.3 | 31.7 | 19.1 | 4.8 | 51,700 |
| 20代 | 135 | 8.1 | 2.2 | 6.7 | 11.1 | 23.7 | 29.6 | 17.0 | 1.5 | 38,926 |
| 30代 | 135 | 4.4 | 0.7 | 4.4 | 15.6 | 22.2 | 28.9 | 17.8 | 5.9 | 56,215 |
| 40代 | 135 | 4.4 | 1.5 | 4.4 | 10.4 | 20.0 | 35.6 | 17.8 | 5.9 | 52,200 |
| 50代 | 135 | 6.7 | 0.7 | 4.4 | 6.7 | 19.3 | 32.6 | 23.7 | 5.9 | 59,459 |
| 妻計 | 540 | 9.6 | 6.3 | 22.8 | 19.3 | 20.4 | 14.1 | 6.7 | 0.9 | 26,087 |
| 20代 | 135 | 10.4 | 8.1 | 24.4 | 17.0 | 18.5 | 11.9 | 8.1 | 1.5 | 27,333 |
| 30代 | 135 | 8.9 | 6.7 | 17.8 | 20.7 | 24.4 | 14.8 | 5.2 | 1.5 | 26,807 |
| 40代 | 135 | 10.4 | 5.9 | 20.0 | 23.0 | 23.0 | 12.6 | 5.2 | - | 24,008 |
| 50代 | 135 | 8.9 | 4.4 | 28.9 | 16.3 | 15.6 | 17.0 | 8.1 | 0.7 | 26,200 |

3. 家計の状況について
(2) 夫婦のランチ代

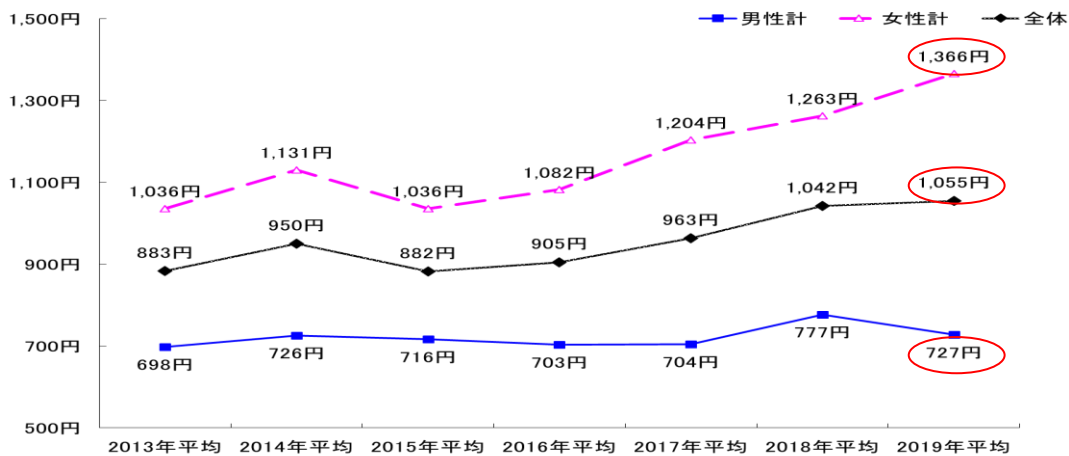
ランチ代は調査開始以来最高額を更新！

妻のランチ代は「1,366円」と、4年連続で増加！妻と夫とのランチ代の格差はさらに拡大！

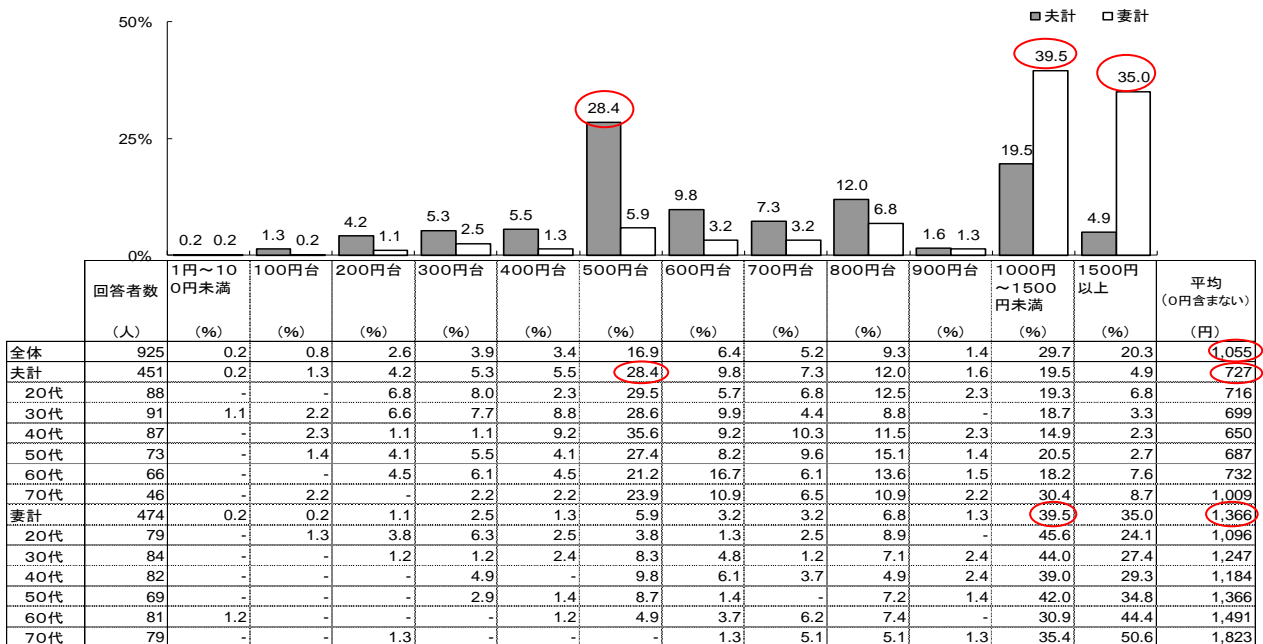
- 夫婦のランチ代について聞いてみました。全体の平均額は昨年から13円増加し、2013年の当項目調査開始以来(※)最高の「1,055円」となりました。
- 男女別では、夫は「500円台」(28.4%)が最も多く、平均額は昨年から50円減少し「727円」となりました。一方、妻は「1,000円～1,500円未満」(39.5%)が最も多く、次いで「1,500円以上」(35.0%)となり、平均額は調査開始以来(※)最高額を更新し、「1,366円」と、実に夫の約1.9倍の金額となりました。
- (※)2013年～2016年は「いい夫婦の日に関するアンケート調査」
- 前述(10ページ)のとおり、世の中の妻の多くは、自身のおこづかいを減らして儉約に努めているものの、せめてランチでは「プチ贅沢」を、という妻の思いがあらわれているのかもしれないね。

Q. 平日のランチ代は1回いくらかですか(金額回答)

【ランチ代の推移】



【ランチ代の詳細】



3. 家計の状況について

(3) キャッシュレスの浸透について

決済手段は「現金派」と「キャッシュレス派(クレジットカード・電子マネー等)」がほぼ半々に！
さらなるキャッシュレス化の浸透にむけて、新たなキャッシュレス決済手段の普及や
各種ポイント還元施策などが必要？

○日常の決済手段について聞いてみました。

○決済手段は「現金」(47.5%)、「クレジットカード」(47.4%)、「電子マネー」(1.9%)、「デビットカード」(1.4%)、「QRコード決済」(0.6%)、「仮想通貨」(0.2%)となり、「現金派」と「キャッシュレス派」が半々であるとの結果となりました。

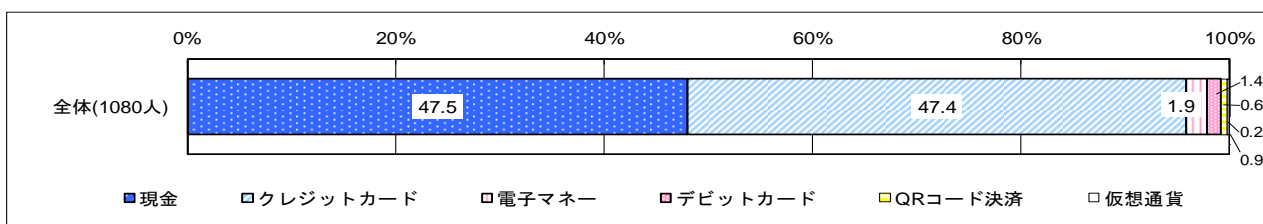
○決済手段が「現金」と答えた人は、「現金払いのほうが浪費を防げるため」(36.3%)、「紛失・盗難・個人情報流出等による不正利用の恐れがあるため」(31.2%)の回答が多い結果となりました。また、決済手段が「現金以外」と答えた人は「現金を持ち歩く必要がなく、利便性が高いため」(30.2%)、「ポイントが付く等、経済的メリットがあるため」(29.1%)、「ネットショッピングにおいて必要なため」(25.9%)の回答が多い結果となりました。

○キャッシュレス決済を主に行なう人の月平均額は、「5,000円～1万円未満」(40.6%)が一番多い結果となりました。男女別にみると「5,000円～1万円未満」は女性より男性のほうが多く、「1万円以上」は男性より女性のほうが多い結果となりました。男性の方が電子マネーで決済する金額が高い傾向にあるようです。

○10月から予定されている消費増税に伴い、政府がキャッシュレス決済での消費に特典がある施策を打ち出していることについて、「これを機にキャッシュレス化を考えるか」を聞いたところ、「考える」「施策の内容では考える」の合計が約7割を占めました。

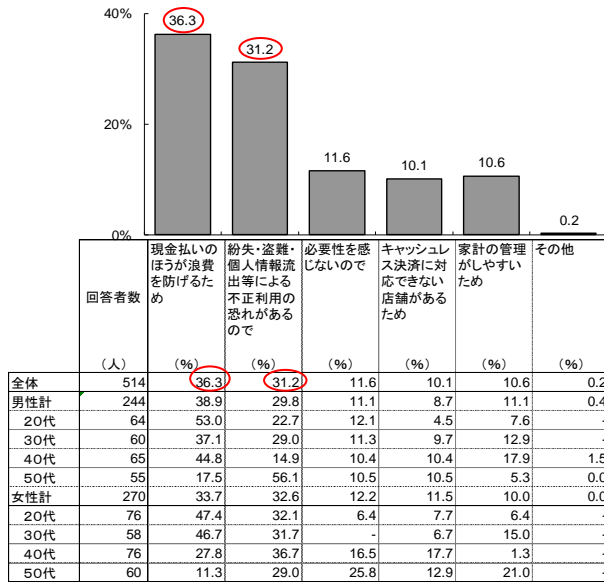
○政府はキャッシュレス決済の比率を2025年に40%、将来的に80%をめざしていますが、今後のいっそうのキャッシュレス化の浸透にむけては、「QRコード決済」などの新たなキャッシュレス決済手段の普及や、各種ポイント還元施策などがカギとなってくるでしょう。

Q. あなたが最も多く利用する支払い手段は何ですか？

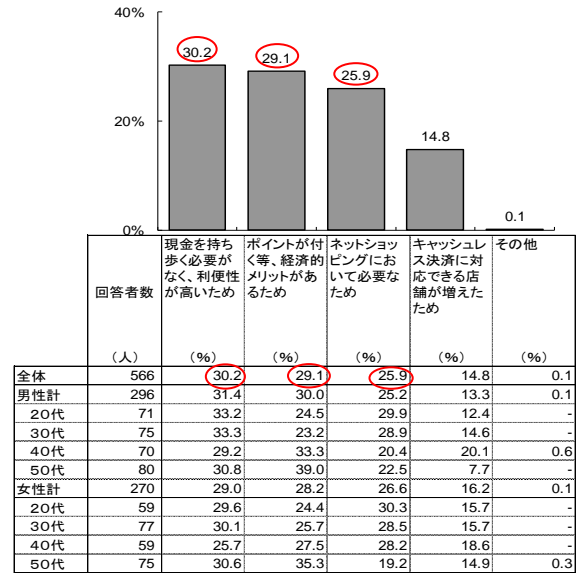


| | 回答者数 (人) | 現金 (%) | クレジットカード (%) | 電子マネー (%) | デビットカード (%) | QRコード決済 (%) | 仮想通貨 (%) | その他 |
|-----|----------|--------|--------------|-----------|-------------|-------------|----------|-----|
| 全体 | 1080 | 47.5 | 47.4 | 1.9 | 1.4 | 0.6 | 0.2 | 0.9 |
| 男性計 | 540 | 45.1 | 47.7 | 2.7 | 2.0 | 0.7 | 0.2 | 1.6 |
| 20代 | 135 | 47.6 | 40.2 | 5.5 | 2.9 | 2.4 | - | 1.4 |
| 30代 | 135 | 44.3 | 48.2 | 2.1 | 3.6 | 1.3 | 0.5 | - |
| 40代 | 135 | 48.1 | 48.4 | 1.1 | - | 0.3 | - | 2.1 |
| 50代 | 135 | 40.4 | 53.9 | 2.2 | 2.1 | - | - | 1.4 |
| 女性計 | 540 | 50.0 | 47.1 | 1.1 | 0.8 | 0.7 | 0.1 | 0.3 |
| 20代 | 135 | 56.2 | 38.2 | 2.1 | 1.4 | 2.1 | - | - |
| 30代 | 135 | 42.9 | 51.4 | 2.1 | 1.4 | 0.5 | 0.3 | 1.4 |
| 40代 | 135 | 56.4 | 42.9 | 0.7 | - | - | - | - |
| 50代 | 135 | 44.3 | 55.7 | - | - | - | - | - |

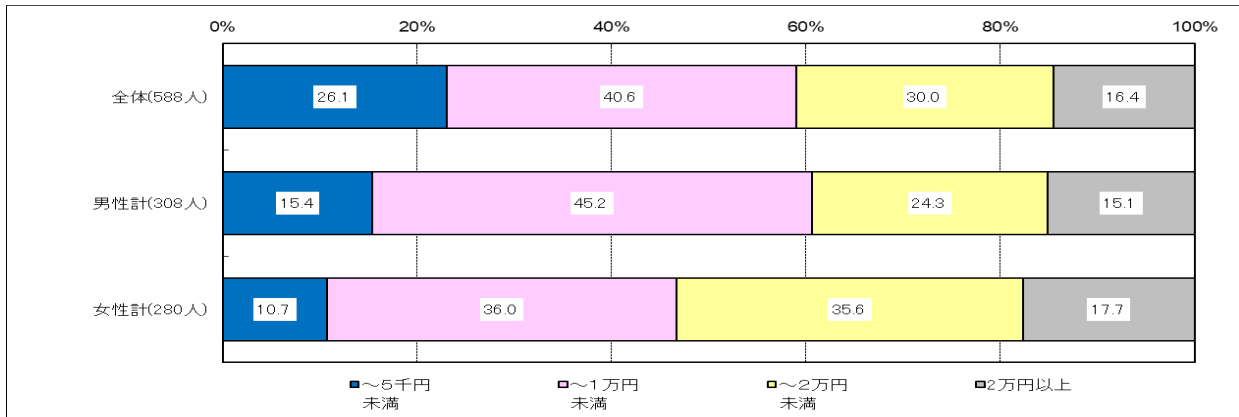
【決済手段を「現金」と答えた人の理由】



【決済手段を「現金以外」と答えた人の理由】

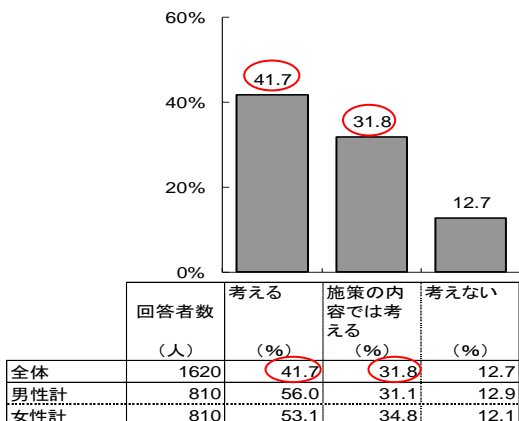


【キャッシュレス決済 ひと月の平均額】



| 回答者数 | ~5千円未満 | ~1万円未満 | ~2万円未満 | 2万円以上 | |
|------|--------|--------|--------|-------|------|
| (人) | (%) | (%) | (%) | (%) | |
| 全体 | 566 | 26.1 | 40.6 | 30.0 | 16.4 |
| 男性計 | 296 | 15.4 | 45.2 | 24.3 | 15.1 |
| 女性計 | 270 | 10.7 | 36.0 | 35.6 | 17.7 |

【政府は10月からの消費増税に伴い、キャッシュレス決済での消費に特典がある施策を打ち出していますがこれを機に、キャッシュレス化を考えますか？】



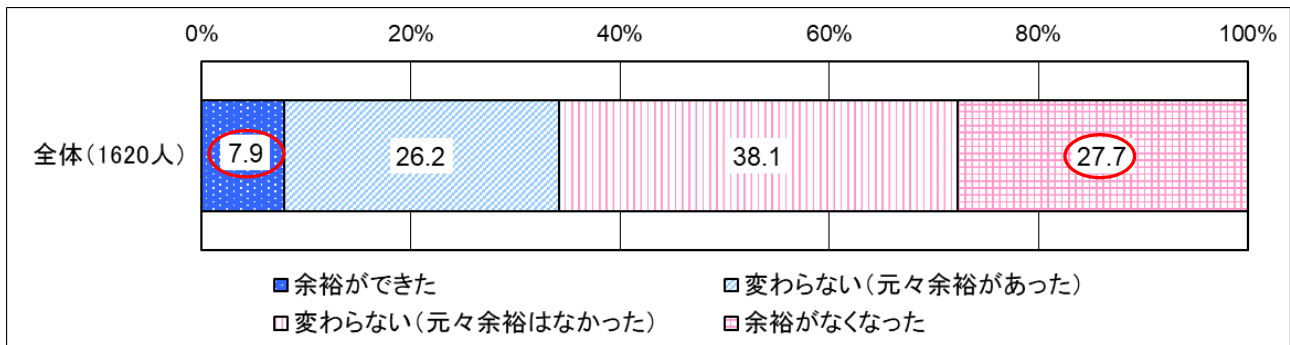
3. 家計の状況について

(4) 家計の状況と理由

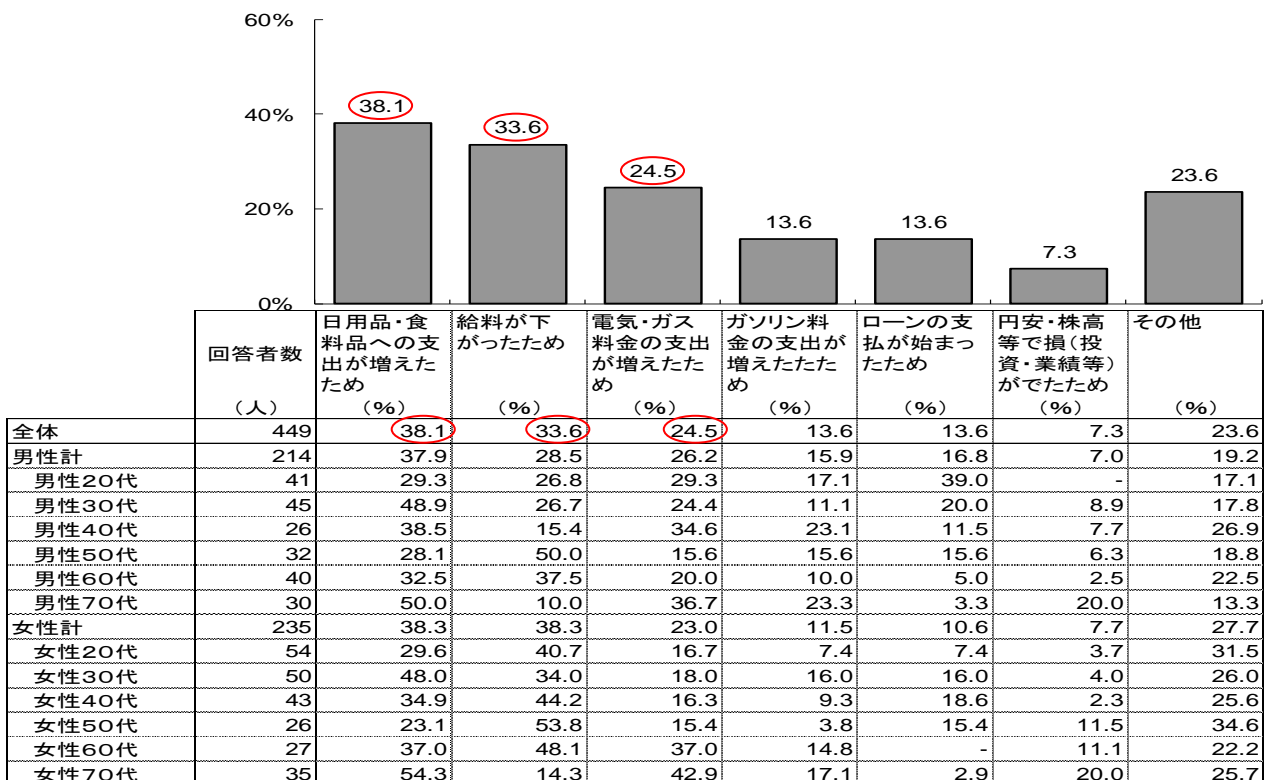
家計における景気回復の実感はまだまだ遠い！？
家計に余裕ができたと答えた人はわずか7.9%！

- 昨年と比較し、自由に使えるお金に余裕ができたかを聞いてみました。
- 「余裕ができた」と回答した人がわずか7.9%にとどまる一方、「余裕がなくなった」と回答した人は27.7%と、「余裕ができた」の3倍以上という結果となりました。
- 「余裕がなくなった」理由は、「日用品・食料品への支出が増えたため」(38.1%)がトップ、次いで「給料が下がったため」(33.6%)、「電気・ガス料金の支出が増えたため」(24.5%)となりました。
- 一方で、「余裕ができた」理由は、「給料が上がったため」(50.8%)がトップとなり、次いで「副業を始めたため」(20.3%)、「円安・株高等で利益(投資・業績等)がでたため」(13.3%)となりました。

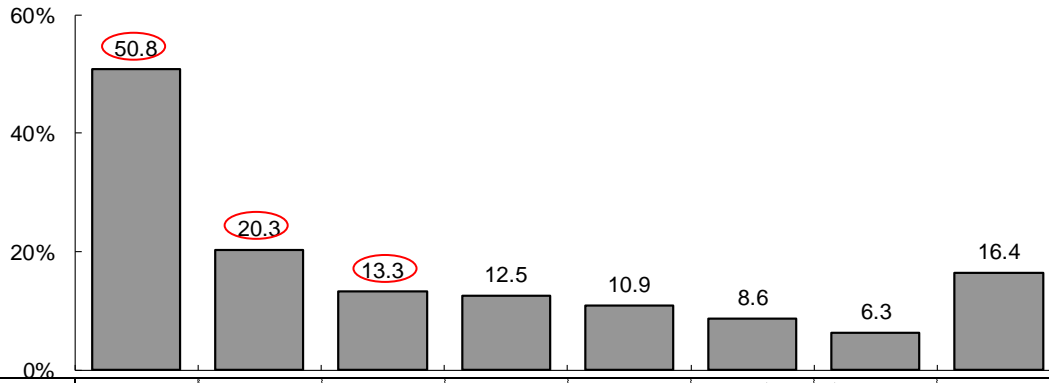
Q. 昨年と比較し、「(自由に使える) お金」に余裕ができましたか



【余裕がなくなった理由】(複数回答)



【余裕ができた理由】（複数回答）



| 回答者数 | 給料が上がったため | 副業を始めたため | 円安・株高等で利益(投資・業績等)がでたため | 日用品・食料品への支出が減ったため | ローンの支払が終わったため | 電気・ガス料金の支出が減ったため | ガソリン料金の支出が減ったため | その他 | |
|------|-----------|----------|------------------------|-------------------|---------------|------------------|-----------------|------|------|
| (人) | (%) | (%) | (%) | (%) | (%) | (%) | (%) | (%) | |
| 全体 | 128 | 50.8 | 20.3 | 13.3 | 12.5 | 10.9 | 8.6 | 6.3 | 16.4 |
| 男性計 | 59 | 50.8 | 23.7 | 18.6 | 15.3 | 11.9 | 10.2 | 8.5 | 16.9 |
| 20代 | 21 | 66.7 | 28.6 | 23.8 | 23.8 | 4.8 | 14.3 | 4.8 | 4.8 |
| 30代 | 12 | 75.0 | 33.3 | 33.3 | 25.0 | 16.7 | 25.0 | 16.7 | - |
| 40代 | 4 | 50.0 | 25.0 | - | - | - | - | - | 25.0 |
| 50代 | 14 | 35.7 | 14.3 | 7.1 | - | 7.1 | - | - | 35.7 |
| 60代 | 6 | - | 16.7 | - | 16.7 | 33.3 | - | 33.3 | 33.3 |
| 70代 | 2 | - | - | 50.0 | - | 50.0 | - | - | 50.0 |
| 女性計 | 69 | 50.7 | 17.4 | 8.7 | 10.1 | 10.1 | 7.2 | 4.3 | 15.9 |
| 20代 | 19 | 73.7 | 15.8 | 5.3 | 15.8 | - | 10.5 | - | - |
| 30代 | 13 | 38.5 | 53.8 | 15.4 | - | - | - | - | 30.8 |
| 40代 | 11 | 63.6 | 9.1 | - | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 9.1 |
| 50代 | 10 | 30.0 | - | 10.0 | 20.0 | 20.0 | - | - | 40.0 |
| 60代 | 12 | 41.7 | - | 16.7 | 8.3 | 16.7 | - | - | 16.7 |
| 70代 | 4 | 25.0 | 25.0 | - | - | 50.0 | 50.0 | 50.0 | - |

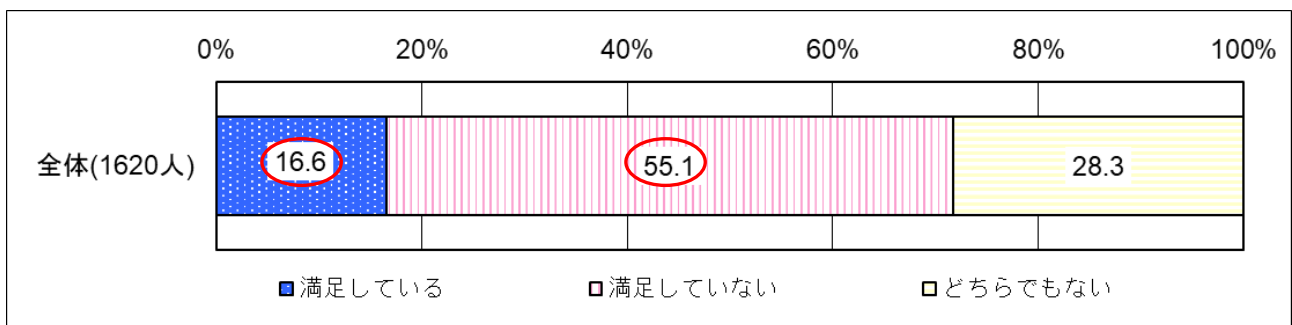
3. 家計の状況について

(5) 給与の満足度と理由

**現在の給与に満足している人はわずか16.6%！
給与に満足していない理由は、「貯蓄をするお金がないから」がトップ！**

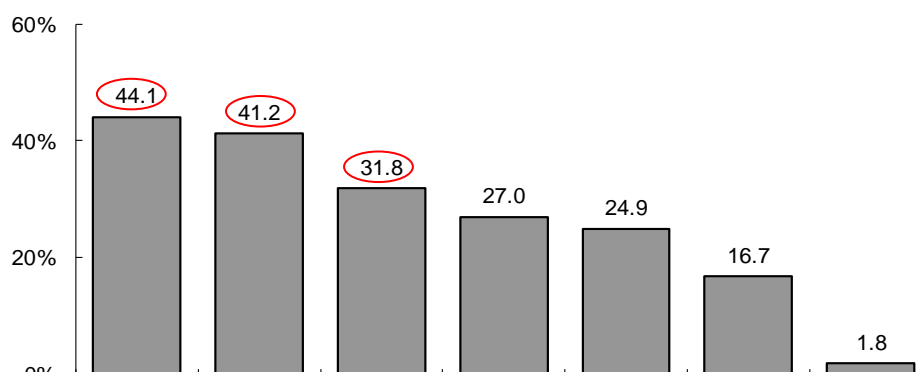
- 現在の給与の満足度とその理由について聞いてみました。
- 現在の給与に「満足している」と回答した人は16.6%にとどまり、「満足していない」と回答した人の55.1%を大きく下回りました。
- 給与に満足していない理由については、「貯蓄をするお金がない(少ない)から」(44.1%)がトップ、「日々の生活が苦しいから」(41.2%)、「仕事量に見合わないから」(31.8%)と続きました。
- 男女別では、男性は、「日々の生活が苦しいから」(42.0%)、「仕事量に見合わないから」(38.5%)、「趣味に使用できるお金がない(少ない)から」(28.3%)が、女性と比較し高い結果となりました。一方、女性は、「貯蓄をするお金がない(少ない)から」(50.0%)が、男性と比較し高い結果となりました。男性は、趣味を充実させられないことに不満を多く抱いている一方、女性は貯蓄ができないことに不満を抱いているようです。

Q. 現在の給与について満足していますか



| | 回答者数 (人) | 満足してい る (%) | 満足してい ない (%) | どちらでも ない (%) |
|-----|-------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 全体 | 1620 | 16.6 | 55.1 | 28.3 |
| 男性計 | 810 | 16.3 | 59.4 | 24.3 |
| 20代 | 135 | 14.8 | 72.6 | 12.6 |
| 30代 | 135 | 15.6 | 67.4 | 17.0 |
| 40代 | 135 | 12.6 | 65.2 | 22.2 |
| 50代 | 135 | 25.2 | 57.0 | 17.8 |
| 60代 | 135 | 17.8 | 50.4 | 31.9 |
| 70代 | 135 | 11.9 | 43.7 | 44.4 |
| 女性計 | 810 | 16.9 | 50.9 | 32.2 |
| 20代 | 135 | 21.5 | 52.6 | 25.9 |
| 30代 | 135 | 17.8 | 60.0 | 22.2 |
| 40代 | 135 | 14.8 | 58.5 | 26.7 |
| 50代 | 135 | 16.3 | 48.1 | 35.6 |
| 60代 | 135 | 15.6 | 48.9 | 35.6 |
| 70代 | 135 | 15.6 | 37.0 | 47.4 |

【満足していない理由】（複数回答）



| | 回答者数 (人) | 貯蓄をする お金がない (少ない)か ら (%) | 日々の生活 が苦しいか ら (%) | 仕事量に見 あわないか ら (%) | 旅行に使用 できるお金 がない(少な い)から (%) | 趣味に使用 できるお金 がない(少な い)から (%) | 外食に使用 できるお金 がない(少な い)から (%) | その他 (%) |
|-----|-------------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|---|---|---|------------|
| 全体 | 893 | 44.1 | 41.2 | 31.8 | 27.0 | 24.9 | 16.7 | 1.8 |
| 男性計 | 481 | 39.1 | 42.0 | 38.5 | 26.4 | 28.3 | 16.2 | 1.7 |
| 20代 | 98 | 42.9 | 43.9 | 41.8 | 25.5 | 39.8 | 21.4 | 1.0 |
| 30代 | 91 | 49.5 | 50.5 | 40.7 | 31.9 | 28.6 | 25.3 | - |
| 40代 | 88 | 44.3 | 35.2 | 46.6 | 28.4 | 29.5 | 15.9 | 1.1 |
| 50代 | 77 | 28.6 | 41.6 | 49.4 | 22.1 | 24.7 | 13.0 | 2.6 |
| 60代 | 68 | 30.9 | 47.1 | 29.4 | 14.7 | 16.2 | 5.9 | 1.5 |
| 70代 | 59 | 32.2 | 30.5 | 13.6 | 35.6 | 25.4 | 10.2 | 5.1 |
| 女性計 | 412 | 50.0 | 40.3 | 24.0 | 27.7 | 20.9 | 17.2 | 1.9 |
| 20代 | 71 | 49.3 | 40.8 | 38.0 | 21.1 | 21.1 | 21.1 | - |
| 30代 | 81 | 63.0 | 42.0 | 22.2 | 35.8 | 25.9 | 27.2 | 2.5 |
| 40代 | 79 | 49.4 | 46.8 | 40.5 | 17.7 | 15.2 | 13.9 | 1.3 |
| 50代 | 65 | 50.8 | 46.2 | 18.5 | 16.9 | 20.0 | 12.3 | 1.5 |
| 60代 | 66 | 37.9 | 30.3 | 15.2 | 33.3 | 21.2 | 15.2 | 3.0 |
| 70代 | 50 | 46.0 | 32.0 | - | 46.0 | 22.0 | 10.0 | 4.0 |

～チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト 小玉 祐一



●夫と妻のランチ代の格差は、毎日外食の人も多い夫と、たまの贅沢を楽しむ専業主婦との違いかもしれません。小遣いの額では夫が妻に2倍以上の差をつけており、妻の方が特段羽振りがいいというわけではないと考えられます。夫の場合、夜の会合の頻度が高い分、ランチにあまりお金をかけられないという面もあるでしょう。逆に妻の場合、友人との豪華ランチが数少ない息抜きの機会になっている可能性もありそうです。

それにしても、家計に余裕ができたという人がわずか7.9%というのは寂しい限りです。現在の給与に満足している人も16.6%にすぎません。6年あまりも景気回復が続いているにもかかわらず、いまだに賃金の伸びが鈍いことが影響していると考えられます。今年の春闘も、昨年を下回る結果になることが有力で、残念ながら、家計が景気回復の実感を得られない状況はまだ続きそうです。

4. 貯蓄について 貯蓄の金額と目的

約2割が貯蓄額0円！貯蓄額は、平均「1, 293万円」！

○世帯の貯蓄額と貯蓄の目的について聞いてみました。

○全体では、「0円」が19.4%と最も高く、男女ともに50代以上で、平均貯蓄額が1,000万円を超えています。

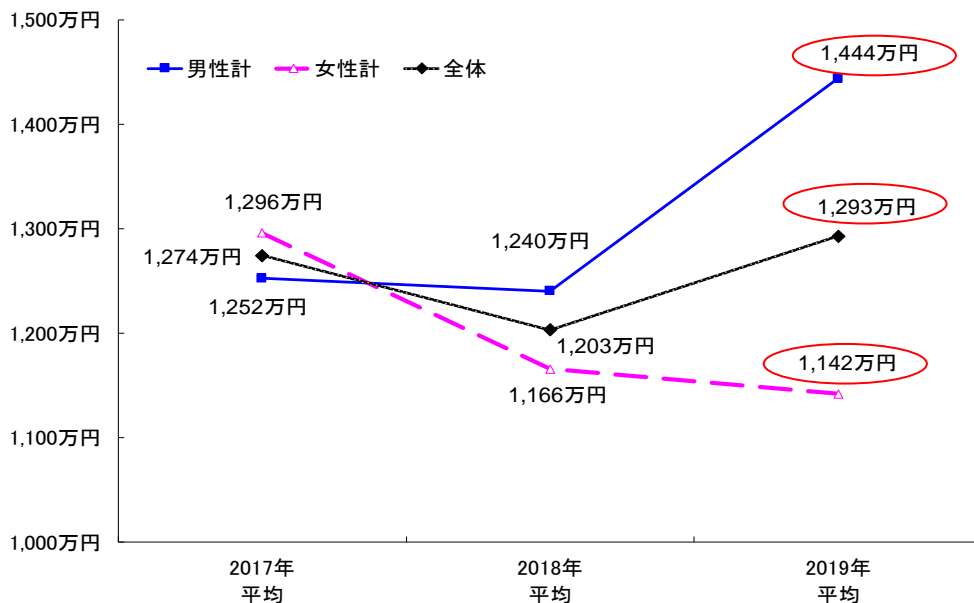
○過去3年間の平均貯蓄額の推移をみると、全体の平均貯蓄額は3年前から19万円、昨年からは90万円増加しています。さらに、男性は昨年からは204万円増加しており、60代、70代は2,000万円を超え、貯蓄志向が年々高くなっているようです。一方、女性は過去3年間で平均貯蓄額が減少しており、昨年からは24万円減少しています。

○貯蓄の目的は、「将来のため」「いざというとき」「子どもの教育資金」などの貯蓄目的は女性の割合が高く、「家族旅行」「趣味」「マイホーム購入」「マイカー購入」は男性の割合が高い傾向になりました。

Q. 世帯での貯蓄はいくらありますか（金額回答）

| | 回答者数 (人) | 0円 (%) | ~100万 円未満 (%) | ~300万 円未満 (%) | ~500万 円未満 (%) | ~1000 万円未満 (%) | ~1500 万円未満 (%) | ~2000 万円未満 (%) | ~3000 万円未満 (%) | ~5000 万円未満 (%) | 5000万 円以上 (%) | 平均 (万円) |
|-----|-------------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------|
| 全体 | 1620 | 19.4 | 7.4 | 13.4 | 8.6 | 15.8 | 10.3 | 3.9 | 6.4 | 6.9 | 7.9 | 1,293 |
| 男性計 | 810 | 17.5 | 6.9 | 14.4 | 8.8 | 16.2 | 8.9 | 4.2 | 6.3 | 7.8 | 9.0 | 1,444 |
| 20代 | 135 | 20.7 | 13.3 | 28.1 | 12.6 | 13.3 | 6.7 | - | 1.5 | 0.7 | 3.0 | 576 |
| 30代 | 135 | 14.8 | 8.1 | 20.0 | 11.9 | 22.2 | 4.4 | 4.4 | 5.2 | 4.4 | 4.4 | 950 |
| 40代 | 135 | 17.8 | 9.6 | 13.3 | 10.4 | 18.5 | 10.4 | 3.7 | 5.9 | 8.1 | 2.2 | 875 |
| 50代 | 135 | 20.7 | 5.2 | 14.1 | 4.4 | 9.6 | 13.3 | 5.9 | 8.1 | 8.9 | 9.6 | 1,558 |
| 60代 | 135 | 12.6 | 3.0 | 6.7 | 9.6 | 14.8 | 10.4 | 5.9 | 8.1 | 14.1 | 14.8 | 2,320 |
| 70代 | 135 | 18.5 | 2.2 | 4.4 | 3.7 | 18.5 | 8.1 | 5.2 | 8.9 | 10.4 | 20.0 | 2,382 |
| 女性計 | 810 | 21.4 | 7.9 | 12.3 | 8.4 | 15.4 | 11.7 | 3.6 | 6.5 | 5.9 | 6.8 | 1,142 |
| 20代 | 135 | 23.0 | 22.2 | 14.1 | 13.3 | 14.8 | 6.7 | 2.2 | 1.5 | 0.7 | 1.5 | 504 |
| 30代 | 135 | 13.3 | 12.6 | 19.3 | 14.1 | 17.0 | 15.6 | 0.7 | 5.2 | 0.7 | 1.5 | 651 |
| 40代 | 135 | 23.7 | 8.1 | 13.3 | 9.6 | 23.0 | 10.4 | 2.2 | 3.0 | 4.4 | 2.2 | 769 |
| 50代 | 135 | 31.9 | 4.4 | 13.3 | 5.2 | 11.9 | 11.9 | 5.2 | 3.0 | 5.2 | 8.1 | 1,051 |
| 60代 | 135 | 19.3 | - | 8.1 | 5.2 | 11.9 | 16.3 | 5.9 | 10.4 | 12.6 | 10.4 | 1,607 |
| 70代 | 135 | 17.0 | - | 5.9 | 3.0 | 14.1 | 9.6 | 5.2 | 16.3 | 11.9 | 17.0 | 2,270 |

【過去3年間の貯蓄額（平均）の推移】



| | 2017年平均 | 2018年平均 | 2019年平均 |
|-----|---------|---------|---------|
| 全体 | 1,274万円 | 1,203万円 | 1,293万円 |
| 男性計 | 1,252万円 | 1,240万円 | 1,444万円 |
| 20代 | 537万円 | 322万円 | 576万円 |
| 30代 | 864万円 | 532万円 | 950万円 |
| 40代 | 736万円 | 1,241万円 | 875万円 |
| 50代 | 1,351万円 | 1,504万円 | 1,558万円 |
| 60代 | 1,853万円 | 2,167万円 | 2,320万円 |
| 70代 | 2,181万円 | 1,676万円 | 2,382万円 |
| 女性計 | 1,296万円 | 1,166万円 | 1,142万円 |
| 20代 | 471万円 | 240万円 | 504万円 |
| 30代 | 516万円 | 386万円 | 651万円 |
| 40代 | 830万円 | 659万円 | 769万円 |
| 50代 | 1,384万円 | 1,240万円 | 1,051万円 |
| 60代 | 1,842万円 | 1,898万円 | 1,607万円 |
| 70代 | 2,707万円 | 2,570万円 | 2,270万円 |

Q. 貯蓄の目的は何ですか

